

歩いてみよう 千代崎中学校区① 大黒屋光太夫のふるさと 約6.0km



大黒屋光太夫
 伊勢国若松村に生まれた白子廻船の船頭。江戸時代、不運にも航海の途中で嵐に会い、アリューシャン列島のアムチトカ島に漂流した。ロシア女帝エカテリーナ2世に帰国を願い、漂流から約9年半後の1792年に帰国した。(小市、磯吉と3名)その後、類まれなるリーダーシップと交渉術は数少ない異国見聞者として蘭学発展に寄与し、波乱に満ちた人生について数多くの小説や映画などで取り上げられている。

★トイレ有

鈴鹿市スポーツ推進委員協議会推奨ウォーキングコース